

研修会

講義「障がい者スポーツ指導者像」・実技「ボッチャ」に参加して

5/19(日)の研修会は、まず郡司指導協会長より「障がい者スポーツ指導者像」についての講義でした。「ノーマライゼーション」「スポーツ基本法」「パラスポーツの基本理念・特徴」「障がい者スポーツ指導員として必要なこと」など、私たちが参加者に接する時の心得などを解りやすく教えていただきました。

また、資格取得後の活動の場や研修会についても教えていただきました。私も県スポ協事業や県指導協事業に参加したり、また人材バンクに登録して活動の場を広げたり、研修会に積極的に参加することでスキルアップできるようにしたいと思います。

「ボッチャ」では、公認審判員の君島さんからの指導でした。競技名「ボッチャ」は、元タイタリア語で「ボール」を意味する単語から来ていることやボールのサイズや重さは同じでも、素材、縫い目の違いでボールの軌道が変わることなどを教えていただきました。試合の流れやルールについては、デモゲームをしながらの説明でした。点数のつけ方についてはメジャーやコンパス、数ミリのところは紙などを使用したりすることなど解りやすく教えていただきました。その後は、ブロック対抗戦を行い、審判は参加者全員ができるようになるよう交代で行いました。参加者同士で教え合う姿も見られたり、チーム全員で作戦を立てたりしてゲームを行いました。ボールを投げるたびに一喜一憂したりして、みんな時間を忘れ楽しそうでした。

この研修で学んだことをローカルな大会で審判を重ねる中で生かせればと思いました。

令和元年 5月30日

佐藤 博美(下都賀ブロック)